

む さ し の し
武蔵野市

しょうがいしゃけいかく だい き しょうがいふくしけいかく
障害者計画・第5期障害福祉計画

きょうせいしゃかい じつげん
～ 共生社会の実現をめざして～

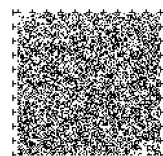
がいようばん
概要版

へいせい ねんど へいせい ねんど
平成30(2018)年度～平成32(2020)年度



へいせい ねん がつ
平成30(2018)年3月

む さ し の し
武蔵野市



1 しょうがいふくしけいかく みなお 障害福祉計画を見直しました。

3年前に話し合っ^{ねんまえ はな あ き}て決めた「障害者^{しょうがいしゃ}についての計画^{けいかく}」を、見直しました。

武蔵野市^{むさしのし}では、『地域^{ちいき}リハビリテーションの理念^{りねん}』をすすめています。市民一人ひとりの気持ち^{きもち}を大切にしながら、安心して生活^{あんしん せいかつ}できるように、たくさん^{ひと}の人と手を取り合っ^{と あ てつだ}てお手伝いするようにしてきました。

今回の「障害者^{しょうがいしゃ}についての計画^{けいかく}」でも、“障害^{しょうがい}のある人^{ひと}が、武蔵野市^{むさしのし}に住みながら、市民^{しみん}皆^{みな}で仲良^{なかよ}く生活^{せいかつ}していく『共生社会^{きょうせいしゃかい}』を^{めざ}目指して”話し合^{はな あ}いました。

「障害者^{しょうがいしゃ}についての計画^{けいかく}」の正式^{せいしき}な名前^{なまえ}は「武蔵野市^{むさしのし}障害者^{しょうがいしゃ}計画^{けいかく}・第5期^{だいご}障害^{しょうがい}福祉^{ふくし}計画^{けいかく}」といいます。

障害者^{しょうがいしゃ}計画^{けいかく}…市^しがこれからの障害者^{しょうがいしゃ}福祉^{ふくし}をすすめる方向^{ほうこう}を決めた計画^{けいかく}です。

障害福祉^{しょうがいふくし}計画^{けいかく}…なるべくこまかくサービス^{さいふ}の内容^{ないよう}などを決めていく計画^{けいかく}です。

2 ねんかん けいかく 3年間の計画です。

計画^{けいかく}の期間^{きかん}は、平成^{へいせい}30(2018)年^{ねん}4月^{がつ}から平成^{へいせい}33(2021)年^{ねん}3月^{がつ}までの3年間^{ねんかん}となります。

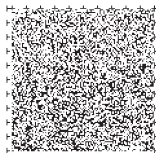
3 はな あ き もくひょう 話し合いで決めた目標

【原文^{げんぶん} (計画^{けいかく}にのっている元^{もと}の文^{ぶん}そのままのことば)】

障害^{しょうがい}のあるすべての人^{ひと}が 住み慣れた地域^{す な ちいき}社会^{しゃかい}の中で生涯^{しょうがい}を通^{つう}じて安心^{あんしん}して 自分^{じぶん}らしい生活^{せいかつ}を送^{おく}るために

【内容^{ないよう} (大切^{たいせつ}にしたこと)】

障害^{しょうがい}のある人もない人も みんなの武蔵野市^{むさしのし}でいつまでも安心^{あんしん}して 楽^{たの}しく暮^くらせるようにすること



4 はな あ たいせつ 話し合いで大切にしたこと

(太字の4つの点は、元の文そのままにしてあります。)

- 1) 障害のあるすべての人が自らの選択に基づく生活スタイルを確保し、地域で安心して暮らし続けることができるよう相談支援体制を充実させます。

内容 障害のあるみなさんが、生活の内容を自分で選べるようにします。安心して暮らしていけるように、話を聞いて一緒に考えていける相談先をわかりやすくします。

- 2) ライフステージに応じた地域生活の選択が可能となるよう環境の整備を進めます。

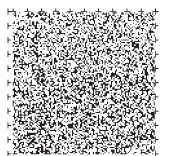
内容 子どもの時から大人になってからも、ずっと武蔵野市で暮らしたいという希望が、かなえられるような仕組みを用意していきます。

- 3) 障害福祉サービスのさらなる充実のため、必要に応じて既存の施策を再編し、持続可能なサービスの提供体制を構築します。

内容 サービスの内容を見直したりして、これからも利用し続けられるサービスづくりを目指します。

- 4) 広く市民の中で障害が正しく理解され、差別や権利侵害のないまちづくりを推進していきます。

内容 いじめられたり、仲間外れにされないように、みんなで仲良く住める武蔵野市にしていきます。



5 計画の中で最初に取り組んでいくもの

(太字の6つの取り組みは、元の文そのままにしてあります。)

1 相談支援体制の強化

1

相談支援体制の役割を明確化し、地域活動支援センターを増設するなど相談支援業務の拡大と体制の強化に取り組めます。

内容

- ・話し合っ**て**一緒に**考**えて**ら**える**相**談**先**を**わ**かり**や**すく**し**ま**す**。
- ・体験したり、みんなで**集**まれる**場**所**を**増**や**し**ま**す。

活動

- 発達障**害**者や高次脳機**能**障**害**者などの**相**談**先**を増**や**し**ま**す。
- 相談**先**の**職**員が、お**互**いに**連**絡**を**取**り**合**っ**て**一**起**に**考**え**ま**す**。
- 相談**先**の**職**員が**し**っ**か**り**相**談**に**の**れ**る**よ**う**に**勉**強**会**を**開**き**ま**す**。
- 発達障**害**者が**体**験**し**たり、みんなで**集**まれる**場**所**を**つ**く**り**ま**す。

2 地域生活支援の充実

2

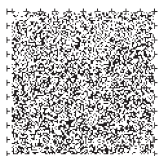
地域生活支援施設などの整備を中心**に**、地域社会での安心した生活**を**継続**で**きる**よ**う、地域生活支援サ**ー**ビス体制の構築**に**取り組**ま**す。

内容

- ・安心して生活**で**きる**よ**う**相**談**に**の**っ**たり、生活のお手**伝**い**を**する**い**ろ**い**ろ**な**施**設**を**用**意**し**ま**す**。
- ・色々な施**設**を**用**意**し**て、希望する生活**が**できる**よ**う**に**し**ま**す。

活動

- 生活のお手**伝**い**を**する施**設**を**市**内**に**増**や**し**て**い**き**ま**す**。
- 市内の施**設**が**助**け合**っ**てお**手**伝**い**し**ま**す。
- 使**い**や**す**いサ**ー**ビス**と**なる**よ**う**に**職**員**も**勉**強**を**し**て**い**き**ま**す**。



しゃかいさんか じゅうじつ 社会参加の充実

3

ちいき しゃかいさんか そくしん しょうがい とくせい おう さんか
地域でのさまざまな社会参加を促進するため、障害の特性に応じた参加しやすい
かつどう じゅうじつ じょうほうていきょう とくく
活動の充実と情報提供に取り組みます。

ないよう
内容

- いろいろ かつどう さんか
色々な活動に参加できるようにします。
- しょうがい しゅるい あ てつだ ほうほう かんが
障害の種類に合わせたお手伝いの方法を考えます。
- さんか かつどう ないよう し
参加しやすいように、活動の内容などをお知らせします。

かつどう
活動

- がっこう そつぎょう ひと かつどう
学校を卒業した人が楽しめる活動をつくります。
- スポーツにさんか
スポーツに参加しやすいようにします。
- しごと なが つづ てつだ いまいじょう ぶ
仕事を長く続けられるお手伝いを、今以上に増やしていきます。

しょうがい こ しょうけん じゅうじつ 障害のある子どもへの支援の充実

4

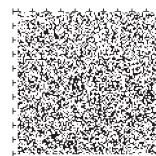
にゅうようじき がくれいき せいねんき おう き め しょうけん けいぞく
乳幼児期、学齢期、青年期など、ライフステージに応じた切れ目のない支援が継続で
きるよう、かんけいきかん れんけい はか ひとり こ はったつだんかい おう
関係機関との連携を図りながら、一人ひとりの子どもの発達段階に応じた
そうごうてき しょうけんたいせい こうちく とくく
総合的な支援体制の構築に取り組みます。

ないよう
内容

- あか とき こ とき がっこう い とき がっこう そつぎょう
赤ちゃんの時、子どもの時、学校に行っている時、学校を卒業し
てからも、いつでもあんしんす
て安心して過ごせるようにしていきます。
- よいサービスをおこな
を行うために、事業者同士で話し合います。

かつどう
活動

- う とき おとな う じゅんび
生まれた時から、大人になってからも受けられるサービスを準備
していきます。
- こ せんもんか ちいきりょういくそうだんしつ よ
子どもの専門家「地域療育相談室ハビット」をより良くします。
- がっこう あと ほうかご す ばしよ よ
学校が終わった後の放課後に過ごせる場所をより良くします。



福祉手当等のあり方の見直し

5

今後も安定的にサービスを提供していくため、福祉手当と各サービスの果たすべき意義や役割を再整理し、持続可能な制度の構築に取り組みます。

内容 障害のある人のサービスなどに必要なお金の、より良い使い方を、相談しながら考えていきます。

- 活動
- サービスに必要なお金の使い方や使う目的など、話し合っていきます。
 - サービスについても、話し合っってより良くしていきます。

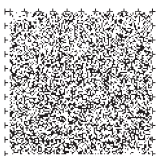
障害者差別解消に向けた取組みの推進

6

障害のあるなしに関わらず、誰もが安心して暮らせる社会を目指すため、関係機関と連携を図りながら、障害者差別の解消に向けた取組みを推進します。

- 内容
- ・障害のある人も、障害のない人も、安心して暮らせる社会をつくれます。
 - ・いじめや仲間はずれになる人の無い社会をつくれます。

- 活動
- いじめや仲間はずれになる人がいないようにします。
 - 大切なお金を守る活動をします。
 - 大切な話がきちんと伝わるようにします。

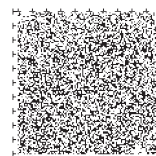
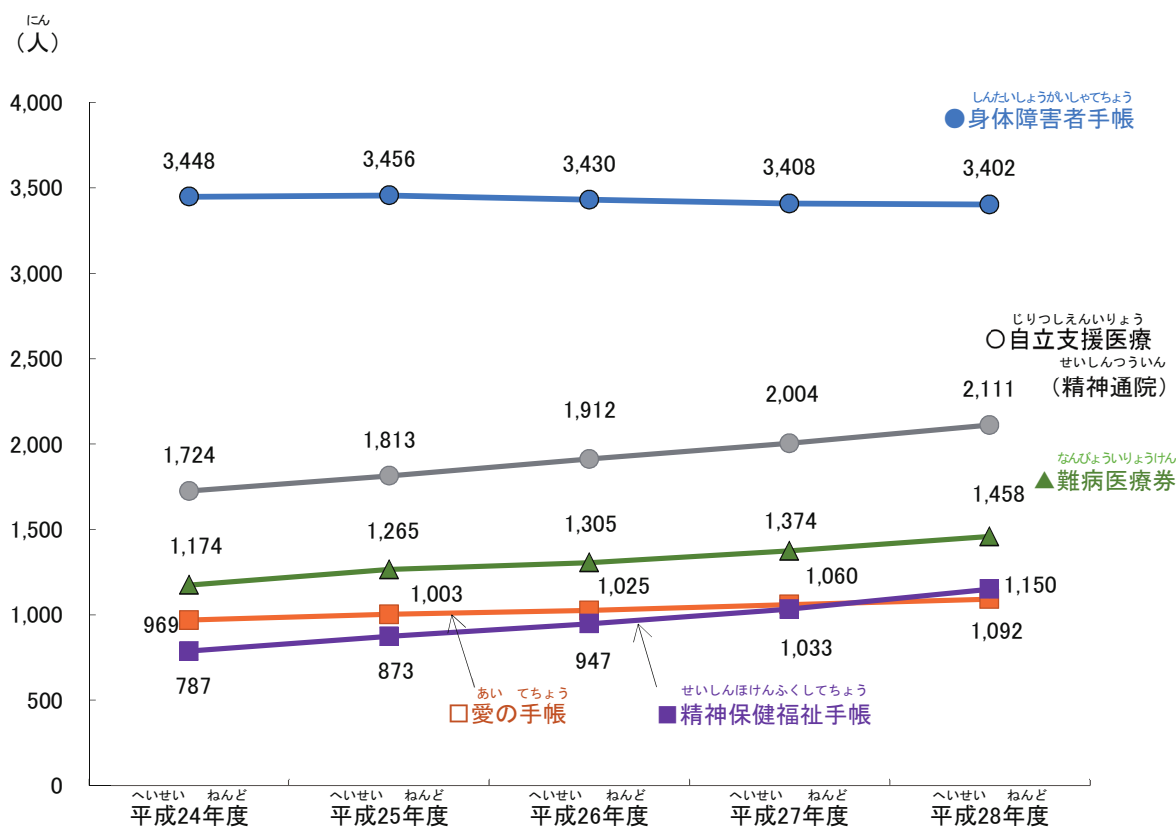


6 しょうがいしゃ すいい 障害者の推移

市の障害者手帳所持者数（平成29（2017）年3月31日現在）は身体障害者手帳が3,402人、愛の手帳が1,092人、精神保健福祉手帳が1,150人、難病医療券が1,458人となっています。

市の総人口に占める割合をみると、身体障害者手帳は2.35%、愛の手帳は0.76%、精神保健福祉手帳は0.80%、難病医療券は1.01%となっています。また、平成28（2016）年の自立支援医療（精神通院）の受給者は2,111人となっています。

< しょうがいしゃ すいい 障害者の推移 >



7 施策の体系

新：新しい取り組み(新規事業)、拡：広げていく取り組み(拡充事業)

基本施策 1

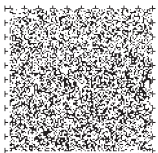
ひと ひと たいせつ
人と人のつながりを大切にする
(ささ あ きも
支え合いの気持ちをつむぐ)

施策	区分	事業
みんなで助け合うまちづくり	新	みんなで助け合うまちづくり
みんなで話し合っすめる活動		障害のある人や、ボランティアの集まりなどを手助けする活動
障害のある人とないとがお互いに理解し合うこと		障害のある人とないとがお互いに理解し合うこと
		ヘルプカードを使いやすくしたり、わかってもらふための活動

基本施策 2

これから先も安心して暮らしていける仕組みづくり
(だれ ちいき あんしん く しく すいしん
誰もが地域で安心して暮らしつづけられる仕組みづくりの推進)

施策	区分	事業
家での毎日のお手伝い	拡	発達障害者や高次脳機能障害者等の相談先を増やし、相談しやすくする
	拡	病院や施設などから出て生活したい人のお手伝いを増やす
	新	希望する生活ができるように、色々な施設を用意する
話し合いながら助け合う仕組み	拡	話し合いながら助け合う仕組み
	新	相談を受ける職員の勉強会を行う
	新	発達障害者が体験したり、みんなで集まれる場所をつくる
	新	病気にかかっている人の相談先を増やす



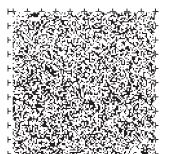
施策	区分	事業
障害のある子どものお てつだ い 手伝い		生まれた時から、大人になっても利用し続けられるサービスを、それぞれ準備する
	しん 新	子どもの専門家「地域療育相談室ハビット」をより良くする
		障害のある子どもが安心して過ごせる所をより良くする
		学校とハビットとが話し合いながら、助け合う
	しん 新	学校が終わった後に過ごせる場所をより良くする
	しん 新	お医者さんや看護師さんのお手伝いが必要な人の生活を、お手伝いする仕組みづくり
お医者さんや保健師さん、 看護師さんなど、色々な 人との助け合い		家で生活する人を手伝う関係者同士の話し合い
		武蔵野市を良くする話し合いと活動づくり
いじめや仲間はずれにな る人がいないようにする		大切なお金や気持ちを守る活動
		いじめや仲間はずれになる人がいないようにする
	かく 拡	大切な話がきちんと伝わるようにする
	かく 拡	いじめや仲間はずれの少ない社会をつくる
地震などが起きた時にど うするかを決めておくこ と		地震が起きた時などにどうするかを決める話し合い
		地震などの時に障害のある人が安心して過ごせる場所を用意する
		ヘルプカードを広める活動【再掲】
		地震などが起きた時に大切なことがきちんと伝わるようにする
		地震が起きた時の練習

基本施策3

ひとりひとりが健康に生活できるようにする

(誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進)

施策	区分	事業
お互いに大切にしよう 気持ちづくり		相手を大切にすることを考える
	しん 新	自分を大切にするための話し合い



基本施策 4

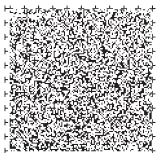
みんなが楽しい毎日を送れるようにする取り組み
(誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり)

施策	区分	事業
障害のある人の活動を 応援します		家から出られない人へのお手伝い
	新	大人になった人へ生活を拡げる活動を用意する
	新	障害のある人がスポーツに参加しやすいようにする
	新	絵をかいたり、ものをつくったりする活動へのお手伝い
働くことを助ける		市役所で働く練習をしたり、就職先を増やす
		働くことを助ける仕組みをより良くする
福祉の仕事をしてくれる 人を増やす		福祉の仕事をしてくれる人を増やしたり、育てる
	新	特別なお手伝いが必要な人の生活を助けられる人を増やす

基本施策 5

みんなの武蔵野市で暮らし続けられるようにする
(住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備)

施策	区分	事業
使いやすいサービスを 考える	新	お金の使い方と必要なサービスを話し合う
		サービスを行う仲間を増やしていく
	拡	安心して暮らせる施設をつくる
	新	障害の重い人が通える施設を考える
		みんなが使いやすくなるように、物や場所を話し合いながら考える
グループホームづくり	新	新しいグループホームをつくる
	新	桜堤に必要な障害のある人の施設を考える



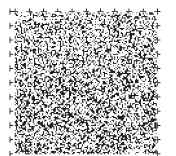
8 けいかく すいしん む 計画の推進に向けて

けいかく すす き つ
～計画を進めるために、これから気を付けていくこと～

- 大切な話たいせつ はなしが、分かりやすくわ かつた伝わるようにします。
- 一生懸命いっしょうけんめいに、途切れることが無いと ぎ なように、みんなに障害しょうがいのある人ひとのことが伝わるようにします。
- 障害しょうがいのある人ひととご家族かぞく、サービスおこなを行っている職員しょくいんなどからの意見いけんを大切たいせつにします。
- 障害しょうがいのある人ひとみんなが住みやすい市す しにしていくために、色々な人いろいろ ひとと話し合はな あいます。
- 「地域自立支援協議会ちいきじりつしえんきぎょうぎかい」で、意見いけんを出し合だ あって話し合はな あいます。
- 今回決めた計画こんかい き けいかくが、どう進すすんでいるのか、どうしていったらより良よくなるのか、市役所しやくしょが中心ちゅうしんとなつて見守みまもっていきます。
- 市役所しやくしょの中なかでもよく話し合はな あって、今いまよりも良よい武蔵野市むさしのしとなるように頑張がんばります。
- 市役所しやくしょの職員しょくいん皆みなで勉強べんきょうし、障害しょうがいのある人ひとのことがわかるようにします。
- 障害しょうがいのある人ひとの生活せいかつをお手伝てつだいするための人ひとやお金かね、しくみなどを上手じょうずに使えるようによく話し合はな あって決きめていきます。
- 武蔵野市むさしのしだけでなく、東京都とうきょうとや国くにともよく話し合はな あいます。
- 必要ひつような予算よさんや仕組みしくをつくってもらえるように、東京都とうきょうとや国くににも話し合はな あってもらいます。

たんとうか むさしのしけんこうふくしぶしょうがいしゃふくしか
担当課：武蔵野市健康福祉部障害者福祉課

はな あ しやくしょ かい
(話し合はな あいをまとめているのは、市役所しやくしょの1階かいにある
しょうがいしゃふくしか
障害者福祉課です。)





はっこう むさしのし へんしゅう むさしのしけんこうふくしぶしょうがいしゃふくしか
発行: **武蔵野市** 編集: **武蔵野市健康福祉部障害者福祉課**

とうきょうとむさしのしみどりちょう ちょうめ ほん ころ
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号

でんわ
電話 0422-60-1904

